

阿佐ヶ谷美術専門学校同窓会
2004年度第6回常任幹事会議事録

●日時
2005年2月19日(土) 15:00~17:00

●場所
阿佐ヶ谷美術専門学校 521号室

●出席者
秋元圭一 [会長]
甲斐光省 [副会長]
渡部征明 [常任幹事]
浜村圭一 [常任幹事]
松岡和彦 [常任幹事]
小山 弘 [常任幹事]
角谷祥子 [常任幹事]
藤原成理 [常任幹事] : 途中参加

●委任欠席
西田一成
目須田修 (→西田氏)
菊池 満
日野 高 (→秋元氏)
西谷之男
大村政幸 (→小山氏)
三浦嘉久
川島昭作 (→西田氏)
勝山昌幸
岸 明美

常任幹事出席者8名
委任状欠席者10名
定足数成立

●議事進行
議長・進行/小山 弘

●書記/小山優子・大村政幸

●議題
議題1/
臨時提案の結果報告と今後の対応について

議題2/
名簿連携の経過報告と予算承認

議題3/
その他(スキーツアー・会則検討など)

次回日程

議題1/臨時提案の結果報告と今後の対応について

●結果報告

議長の小山氏から、幹事宛に同窓会ニュースに封入された臨時提案(1・今年は選挙を行わない。2・現常任幹事の任期をそのまま1年延長)の結果報告があり承認43名、不承認1名で「承認」された事が告げられた。

●今後の対応

秋元会長から「来年度は選挙をおこなうので、会則の変更と選挙方法に関して方向性を見出し、来年の選挙を進める。幹事さんに今年中に提案→確認とり→次回の選挙という手順を踏みたい」との意見に対し「(甲斐)メールで他の意見も募って案を出し、常任幹事会でできるだけ吟味して、残ったものを審議する方法はどうか。科別リスト廃止に対しては異論がなかったので第一項目にしたい」などの意見があった。

●選出問題

科別リスト廃止に絡んで選挙の選出問題に議論が移り「(松岡)連絡幹事の選出の方法と、常任幹事の被選挙人の選出方法の問題だ。選び方が決まってないし、立候補としたらどこまで受付けるかの問題もある」「(秋元)現在のリスト上の幹事さんの意思確認をし、確認をとれた人達は自動的に被選挙人のリストに載せ、それとは別に立候補する人を募るような形をとるのはどうか。ホームページでやるべきか?」「(松岡)1回目位は郵送でもいいと思う。興味はあるけど同窓会がわからない人もいるでしょう。立候補者に対しての説明会や推薦も良い」「(角谷)スケジュールを逆算し、その日までに提案してもらうのはどうか?ホームページなど気軽にいろんな人の意見を知る場所を作れないか」「(秋元)次回までに試案を、常任幹事に対する投げかけという形で提出、それに対して具体案を出してもらうのはどうか」など意見の後、選挙システムは試案を持ち寄り、常任幹事会で考え、11月には何らかの形で提案→確認のかたちをとる。また、今回の会議には会長を含め、他に案がある人が試案を持って来て検討という事になった。

議題2/名簿連携の経過報告と予算承認

●名簿連携の経過説明

「(秋元)今年の4月、三輪校長との会話で、個人情報の保護法案が施行後、学校から同窓会の個人情報漏洩を懸念して名簿連携を白紙にとの提案→就職課の島さんとの会話で、卒業生の情報は学校側にも有益との結論→セキュリティをきちんとし、同窓会用のフォーム作成の件を業者の方に島氏と小山氏で相談→同窓会用のフォームを今の学校のデータベースの中に新たに加える形で作業的には可能→業者に同窓会の要望を伝え、作業費用の見積依頼をしました」と述べ、小山氏から見積金額について「1月中旬、学校から名簿連携の話→2回ほど業者、藤原氏、島氏と僕の四人で会合→現時点で移項費に100万円、メンテナンス費が月額3万円 yearly 年間36万円という事」と伝えられた。その後、意見交換となり「(甲斐)学校と連動させるメリットはどこに?」「(秋元)卒業生の情報変更を学校と同窓会の両方で直さなくても済むようになる。また、あさしんや卒展のお知らせ等の発送などで、その都度、最新データを学校側へ提供しなくてよい」「(松岡)従来からあるデータにアクセス制限をかけて、リスト化する程度でそんなに予算はかからないと思う」「(秋元)名簿を学校側の項目に合わせながら、同窓会の項目をプラスしてコンバートする程度で、私も実際に予算はかからないと思っていた。同窓会のメリットに対し金額が高すぎる」「(松岡)学校も卒業生の対応は同窓会がという感じの姿勢。名簿連携は一度白紙に戻すか、考え直した方がいい。それは関係を断ち切る事ではなく、お互いが必要な時の受け渡しの取り決めがあればいい」などの意見が出た。

●今後の対応とセキュリティーについて

「(秋元)データのコンバートのし易さを考え、項目を学校側に合わせて修正してはどうか」「(渡部)(就職課などの)現場の方が必要としてる感がある。金額を下げる事を考えては?」「(小山)擦合せが必要と考え、2回程度話し合った金額です」「(角谷)具体的な話をし30万程度安くなったとして、そこまで金額をかける必要があるか疑問。学校と同窓会は連携していくべきだと思うが、データ流出の事を考えるとデータは別々な方が被害はお互いに小さい。また、こちら側のメリットが明確になってない」「(小山)パスワードとかしっかりしたセキュリティーの中に入っていくから安全という考え方もある。また、パスワードとIDさえあれば不特定多数の人に見られる可能性も勿論ある」「(渡部)データの更新にどれだけの価値観を感じるかだと思う」などと金額面の問題からの否定的な意見に戻ってしまった。

●結論

「(松岡)同窓会に魅力があり自分の情報をのせたり参加したくなるような組織にするという事。今後、同窓会の活動をアピールして、学校が同窓会とうまくやっていかなければと思わせるようなものにしていかなければ」など、同窓会の活動を活発にしてからこの問題に対処することにし、秋元会長から「業者から出てきたスケジュールと金額に対しては今回は見合わせます。一本化できるメリットがあるという案があれば、お金をかけてやる前提になるので、小山氏や私の所に挙げて下さい」という提案→「(全員)異議なし」→「(小山議長)島氏と業者さんに予算的に厳しかったと伝える」と述べ、今回の名簿連帯は「見送る」ことになった。

議題3 / その他(スキーツアー・会則検討など)

●卒業展と卒業式の予算

始めに会長から卒業展の予算として同窓会賞で14万、賞状代で1万5千、卒業パーティー補助費10万を計上したとの確認→昨年同様に各科の学生に賞をあげる事の承認。

●卒業生の個人情報

「(秋元)島氏から、個人情報保護法の関係で卒業生に自分の情報提供の機会を作り、その際の情報を同窓会で使用することを説明、了解を取りたいとの話が来ている」「(渡部)携帯もしくはパソコンのメールアドレスを同窓会へ送信して欲しいという項目を加えて欲しい。同意する人のアドレスを自動的に受けられるから楽だ」などの意見があった。

●同窓会賞の内容と新幹事選出方法

「(秋元)卒業の賞をアイポッド・シャッフルに代え、さらに情報提供に協力してくれた人に、抽選であげる事でよいか?」「(藤原)名簿を取るのに賞品をあげるのには反対。幹事になってくれた人にあげたい」など意見後、新幹事選出の件に移り「(渡部)講師の方に何人か選んでもらい、僕が個人的に依頼して了承をくれた人を選出しているが、そのやり方も変更したい」「(藤原)先ずは全体に声をかけ、いない場合に声をかけるべき、会長からも卒業式の中で新幹事をみんなに紹介してほしい」などの意見が上がる。今年も新幹事選出は渡部氏にお願いすることになった。また、予算内で同窓会賞と名簿協力の商品を提供する事は決定。商品を渡す際は同窓会からという事を強くアピールすることの要望があった。

●会則検討について

委員長の甲斐氏から「(甲斐)選挙方法と会則検討を分けて審議させてほしい、選挙方法については話し合いながらまとめていく事になったが、会則検討については過去2回ほど集まって話し合った結果、膨らみすぎてまとまらなかった。今後、関係委員の方々に、変更のポイントだけを文章化してもらって突き合わせる形で進めていきたい。委員以外の方々も協力をお願いします。」と今後の進行方法と要望を述べた。

●ツアーについて

日本装飾美術との都合が合わず、HPで中止の告知をする事に決定。文章は藤原氏に依頼。

●次回会議について

「(秋元)3月31日現在の状態で収支報告をメールでもらい、後日、領収書を提出する。役職など関係なく来年度の活動アイデアをご提案下さい」「(小山)次回は予算についてです。各委員長の方は来年度の予算と活動計画をまとめて下さい」と締められ、次回日程を2005年3月26日(土)15:00~との確認をして議会は閉会した。